

平成27年の犯罪抑止目標について(案)

1 抑止目標

目指すもの ～ 安全・安心な滋賀の実現

スローガン ～ 滋賀県は絶対に犯罪を許しません！

犯罪抑止目標 ～ 「さらなる減少を目指す」 ～ みんなで取り組もう！アンダー12,000件 ～

◆◆◆ 設定理由 ◆◆◆

(1) 本県の犯罪は、ここ数年の間、増減を繰り返す状況にある中、平成26年中は昭和56年以降最少の12,435件となり、今後はこの水準を定着させつつ、犯罪抑止の気運を高めるため「さらなる減少」を目指していくもの。

(2) ◆ 滋賀県基本構想では、犯罪抑止に関する数値目標として、犯罪率(人口1万人当たりの犯罪件数)を「全国平均以下」としており、平成26年は目標を達成し、次期基本構想においても平成30年において「犯罪率全国平均以下」を目標としている。

◆ ただ、滋賀県の犯罪件数は減少しているものの、全国的にも犯罪件数は減少して犯罪率も低下を継続していることから、犯罪率で表す滋賀県の順位は全国33位に止まっており、滋賀県より下位は、政令指定都市を有する大規模な都府県や都市圏に近い県が占めている現状にある。

◆ 平成27年における犯罪率の全国平均は、最近5年間の数値等から87と推計され、この犯罪率を滋賀県に当てはめると約12,370件となり、基本構想の目標を達成するにはこの数値を下回る数値目標が必要となる。

以上を勘案し、平成27年の犯罪抑止数値目標については、基本構想の目標である「犯罪率全国平均以下」の達成を見据え、県民に分かりやすく目指しやすい「犯罪認知件数」に置き換え、「さらなる減少を目指す～みんなで取り組もう！アンダー12,000件～」とする。

2 重点犯罪の指定

	項目	設定理由
1	特殊詐欺	条例改正により防犯指針を設けるため最重点とする ～ 平成27年4月には安全なまちづくり条例を改正して特殊詐欺被害防止に特化した防犯指針が策定される元年になることから、特殊詐欺対策を最重点に被害防止対策を推進する
2	子ども・女性対象犯罪	関心が高く、体感治安に著しく影響する ～ 岡山県で発生した小学生誘拐事件、神戸市で発生した小学生殺害事件のように国民・県民の関心も高く、体感治安に大きな影響を与える犯罪であるため
3	自転車盗	犯罪総量押し上げの1番 ～ 「ロックでガード大作戦」の実施等により官民一体となった対策が定着されつつある中、未だ全刑法犯に占める割合は依然として高く、平成26年中に2,666件が発生し、その1割(300件)の減少を目指す
4	万引き	犯罪総量押し上げの2番 ～ 自転車盗に次ぐ高い発生割合にあり、平成26年は「万引きストップ大作戦」を合い言葉に事業者と連携した啓蒙活動等により発生件数を減少させたが、平成27年も官民一体となった抑止対策を推進し、平成26年実数から200件以上の減少を目指す
5	住宅侵入盗 (空き巣、忍込み、居空き)	体感治安に著しく影響する ～ 強盗等の凶悪事件に発生する恐れも高く、県民の体感治安に大きな影響を与える犯罪であるため